

都区市町村情報セキュリティクラウドの運用開始について

サイバー攻撃に対する情報セキュリティ対策を強化するため、区のインターネット通信を都区市町村情報セキュリティクラウドを経由して行う運用を開始したので、下記のとおり報告する。

記

1 都区市町村情報セキュリティクラウドの概要

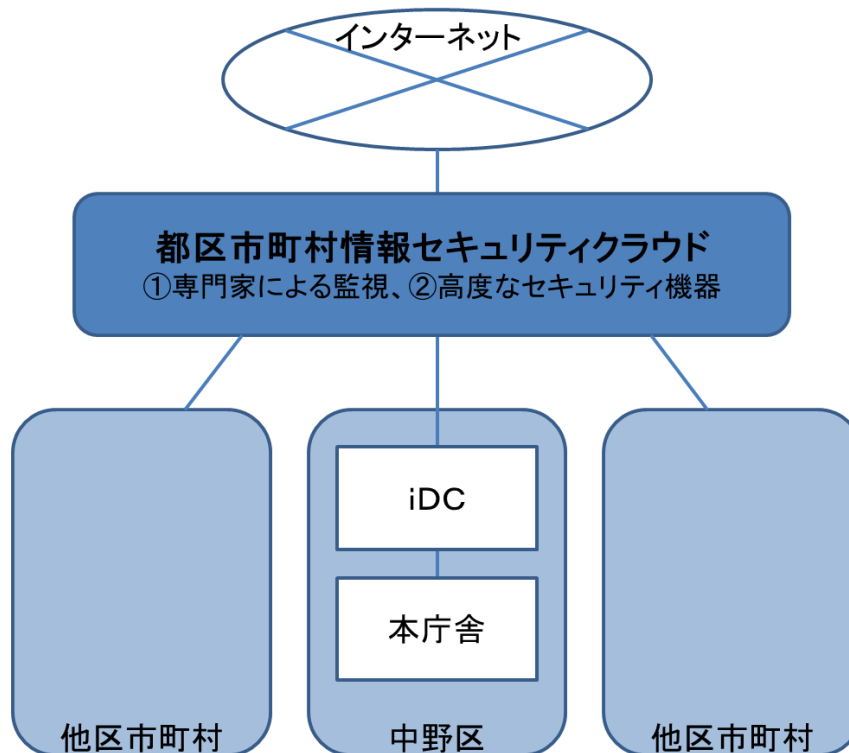
(1) 経緯

サイバー攻撃が急速に複雑・巧妙化している中、マイナンバー制度や地方自治体の行政に重大な影響を与えるリスクも想定されることから、総務省が全国の地方自治体に対して情報セキュリティ対策を抜本的に強化するよう要請した。

(2) 内容

総務省が示した情報セキュリティ強化策の一つとして、都道府県が各区市町村のインターネット通信を集約し、セキュリティの専門家による高水準な運用監視や高度なセキュリティ機器の共同利用による高度なセキュリティ対策を実施することとされた。

(3) イメージ図



2 都区市町村情報セキュリティクラウドの利用団体

東京都及び東京都内の各区市町村

3 平成29年度の負担金（見込額）

9, 143, 032円

(参考) 全利用団体負担金総額 546, 600, 588円

各利用団体の負担金の算定方法（概要）

(1) 構築費 都が負担（国の補助対象）

(2) 運用保守費 都区市町村で分担

（東京電子自治体共同運営電子申請サービスの按分方法を準用）

①均等按分 年額全体の6割を利用団体で均等割

②人口按分 年額全体の2割を東京都が負担

年額全体の2割を区市町村で人口按分

4 スケジュール

平成29年4月～6月 各利用団体が段階的に都区市町村情報セキュリティクラウドと接続（中野区は平成29年5月28日）